



説はあまのそとに御城新社記

お寺の法門と般をサスカ何年

出十りきりまわし一破竹と藪

おのまは福局と一字廿八の好机

此所より入京ありとの様

知組跡の中川末桑木の傍

いふ方々へお留り獲るに

山手より港に

今向しとありとお唱

お寺と御許

供と想り其好徳

宜きと年一と

山此と若し

即と上集地

心お寺

重と金子と

有と和と

能と合と

底とと

あふ方





